



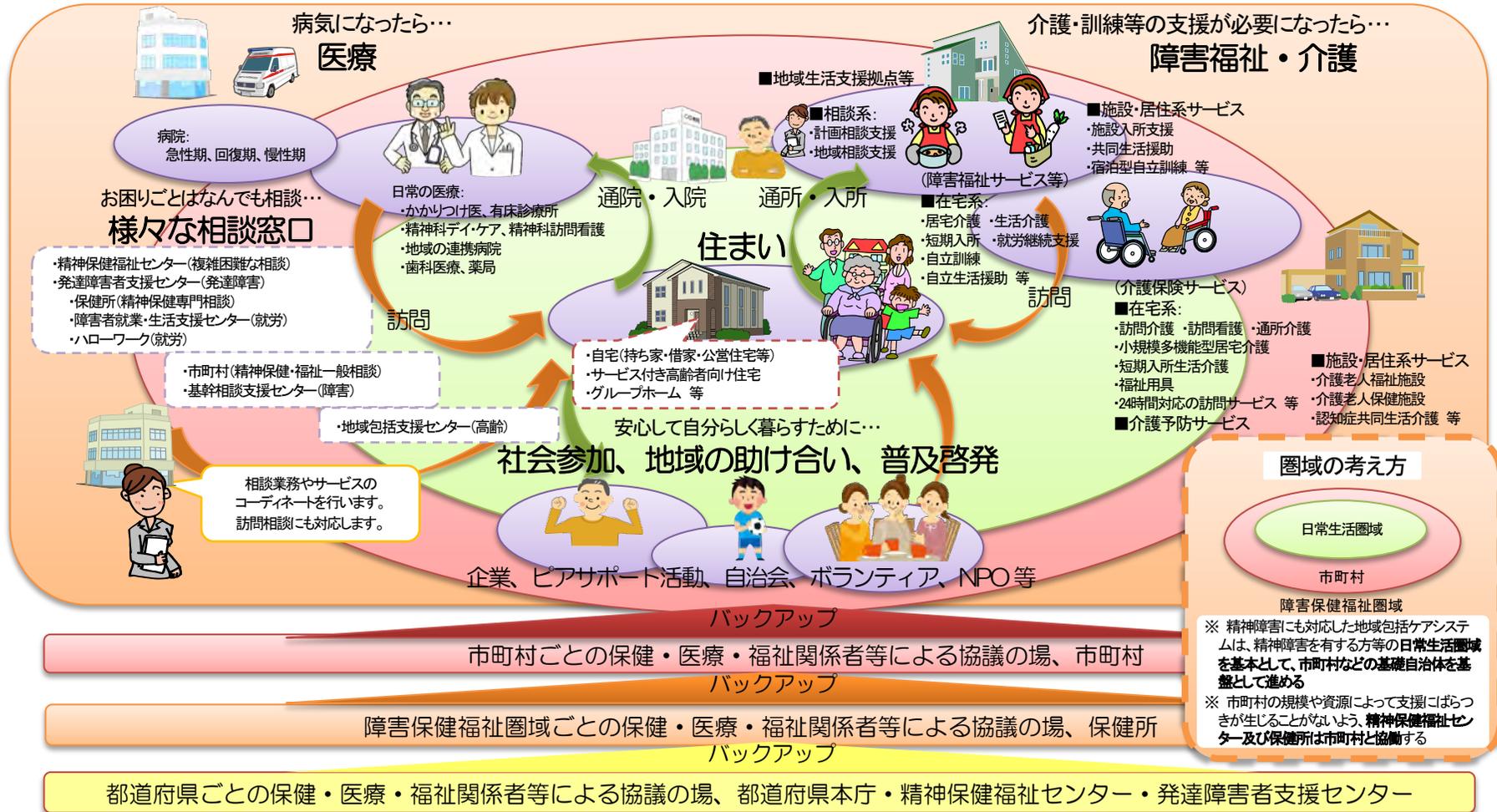
# 「にも包括」と医療計画・地域医療構想

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所  
地域精神保健・法制度研究部  
藤井 千代

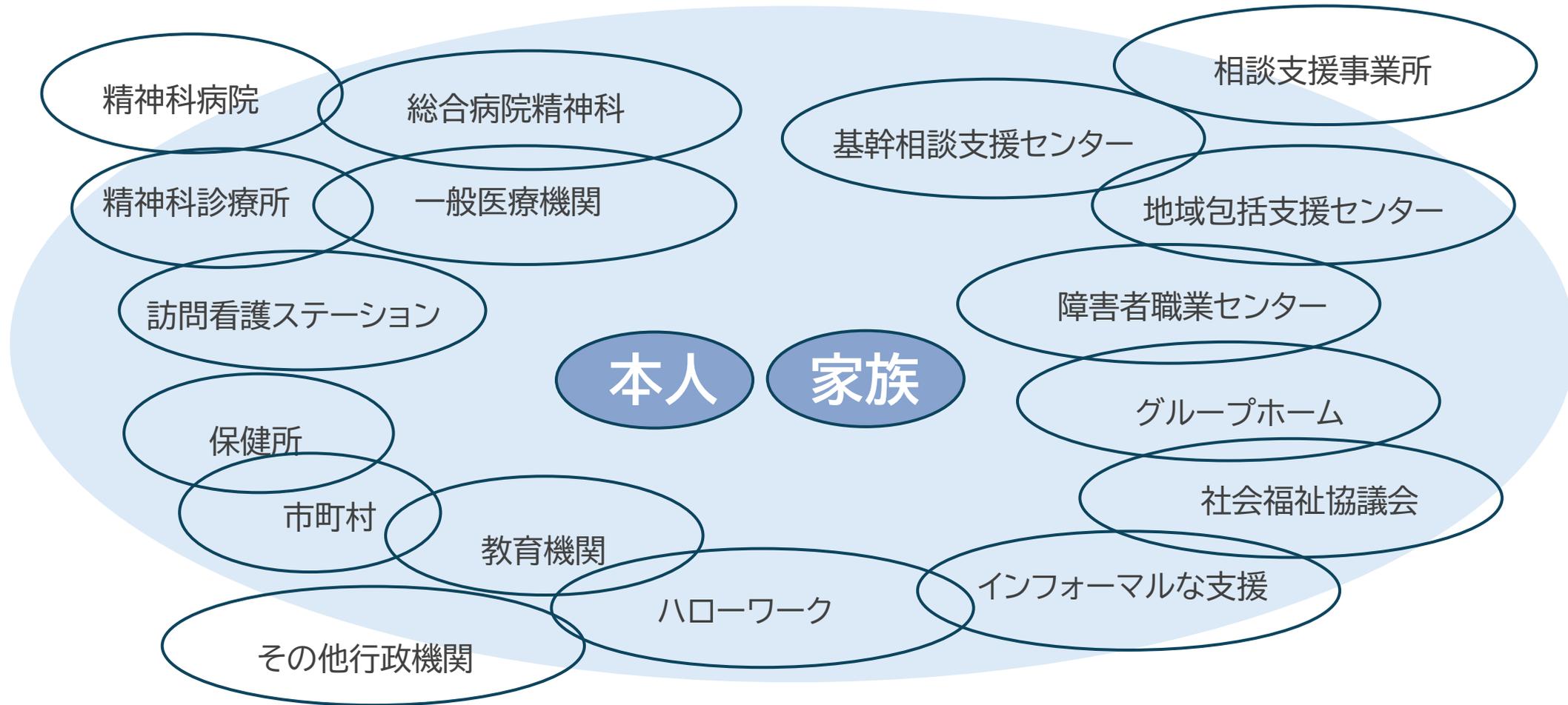
# 精神医療に関連する主な施策

- ✓ **精神障害にも対応した地域包括ケアシステム**  
(精神保健福祉法)
- ✓ **医療計画** (医療法)
- ✓ **地域医療構想** (医療法)

# 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(にも包括)

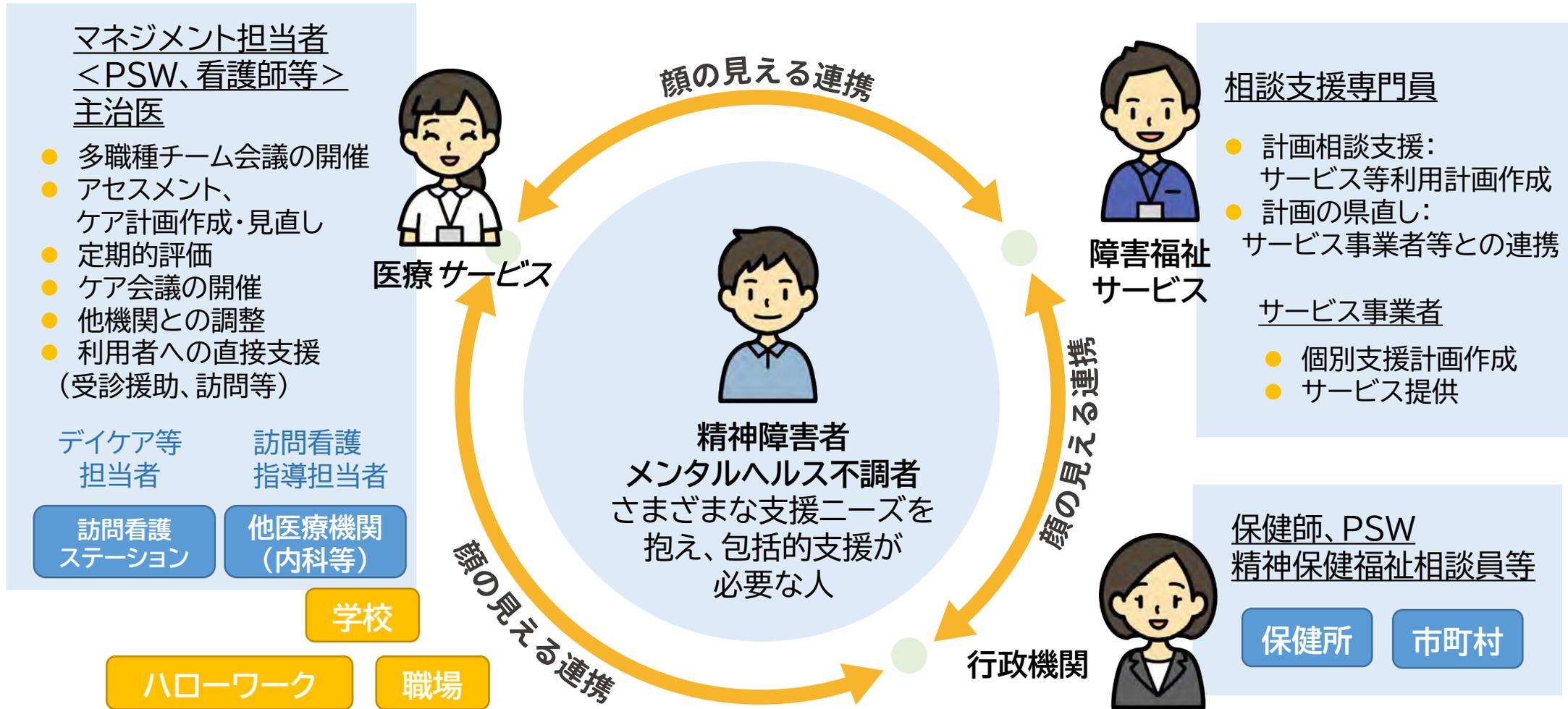


# 本人をとりまく地域資源



面(ネットワーク)で本人・家族を支える

# 個別支援から見える課題の共有と対応策の検討



個別支援

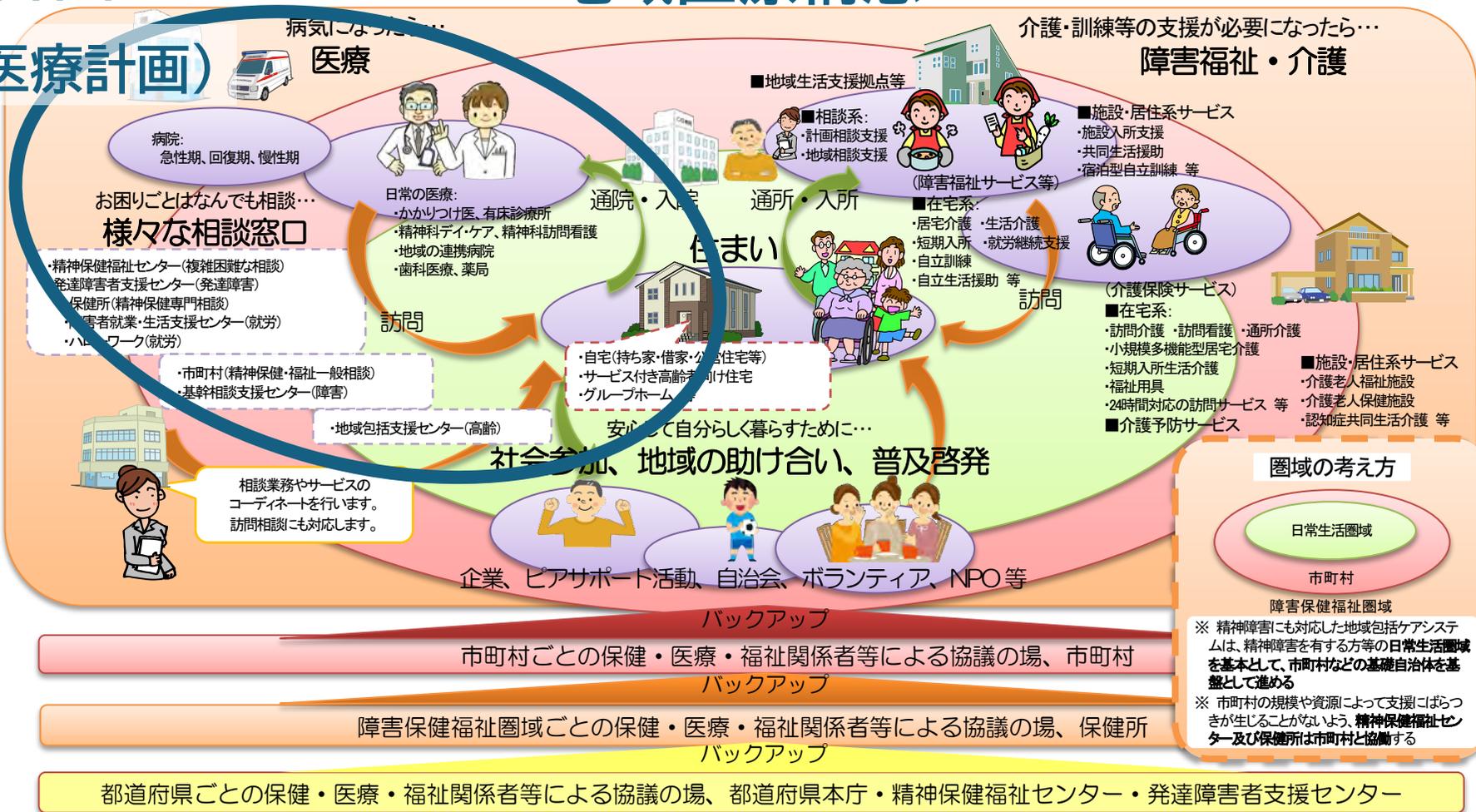
地域の医療等提供体制・連携のあり方に関する課題の検討

# 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(にも包括)

## 医療計画

## 地域医療構想

### (保健医療計画)



# 「にも包括」と医療計画・地域医療構想

## ✓ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム

(精神保健福祉法) ⇒ 政策理念(考え方)



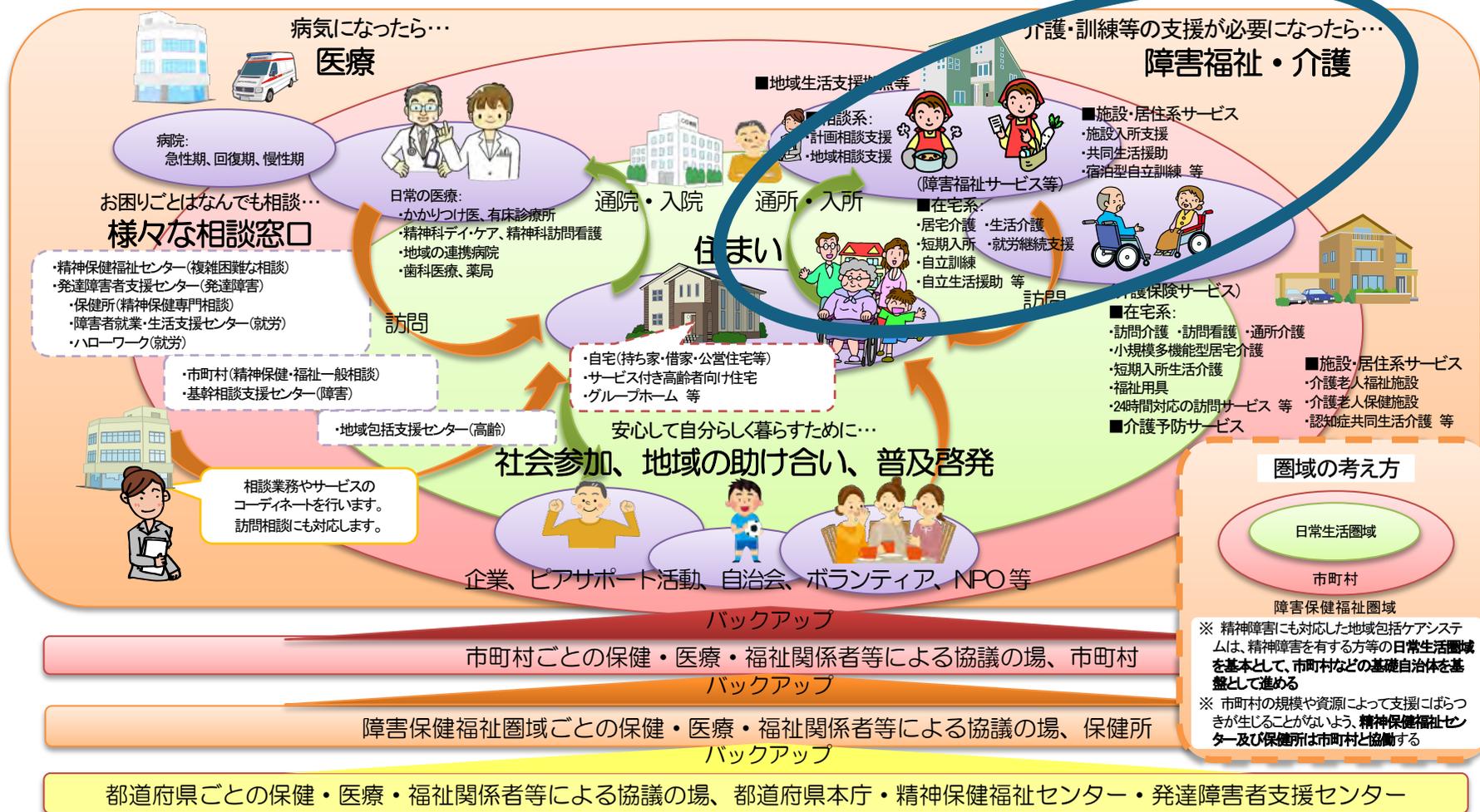
✓ 地域医療構想 (医療法)

✓ 医療計画 (医療法)

具体的な計画

# 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(にも包括)

## 障害福祉計画



# 「にも包括」と障害福祉計画

- ✓ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム

(精神保健福祉法) ⇒ 政策理念(考え方)

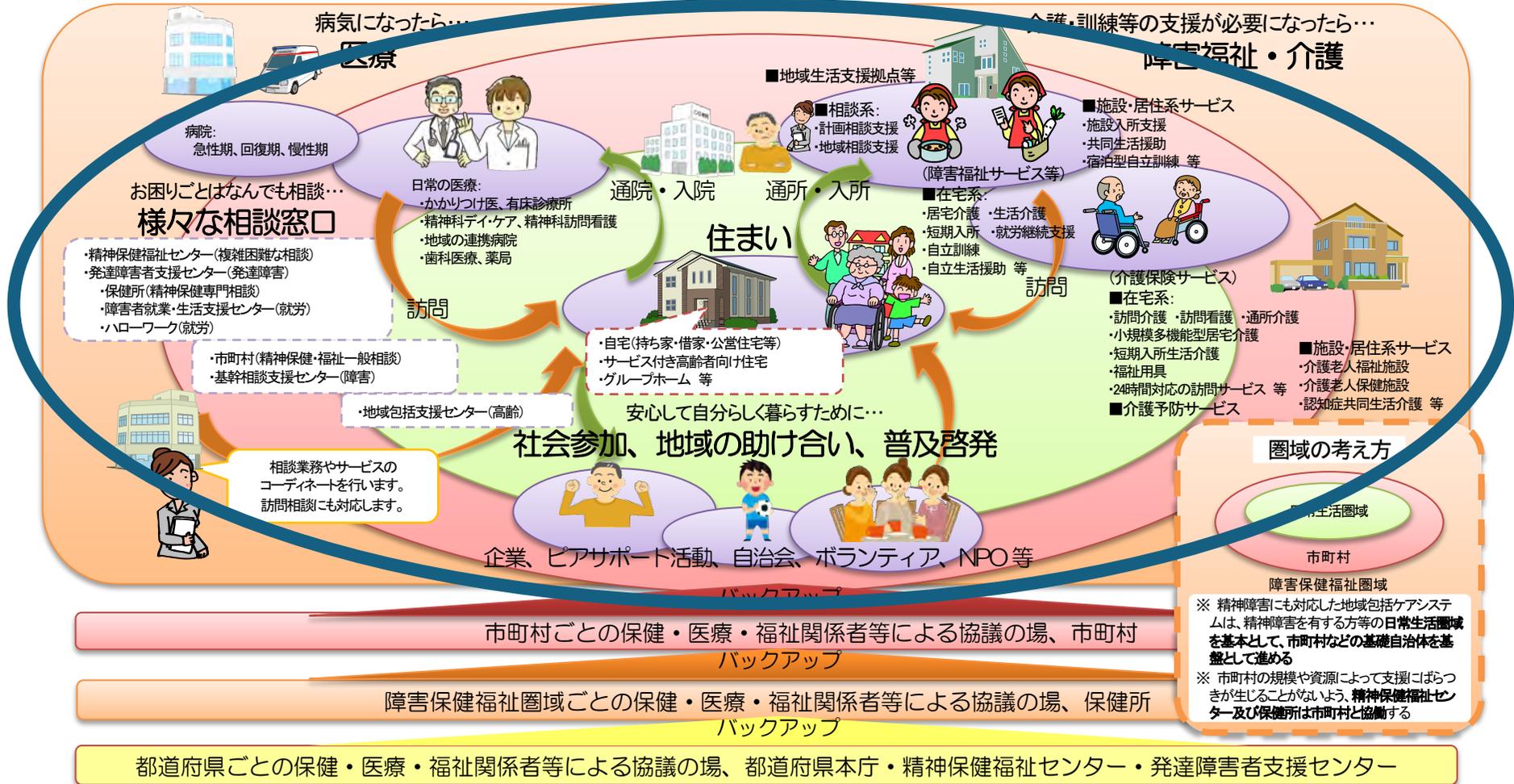


- ✓ 障害福祉計画 (障害者総合支援法)

具体的な計画

# 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(にも包括)

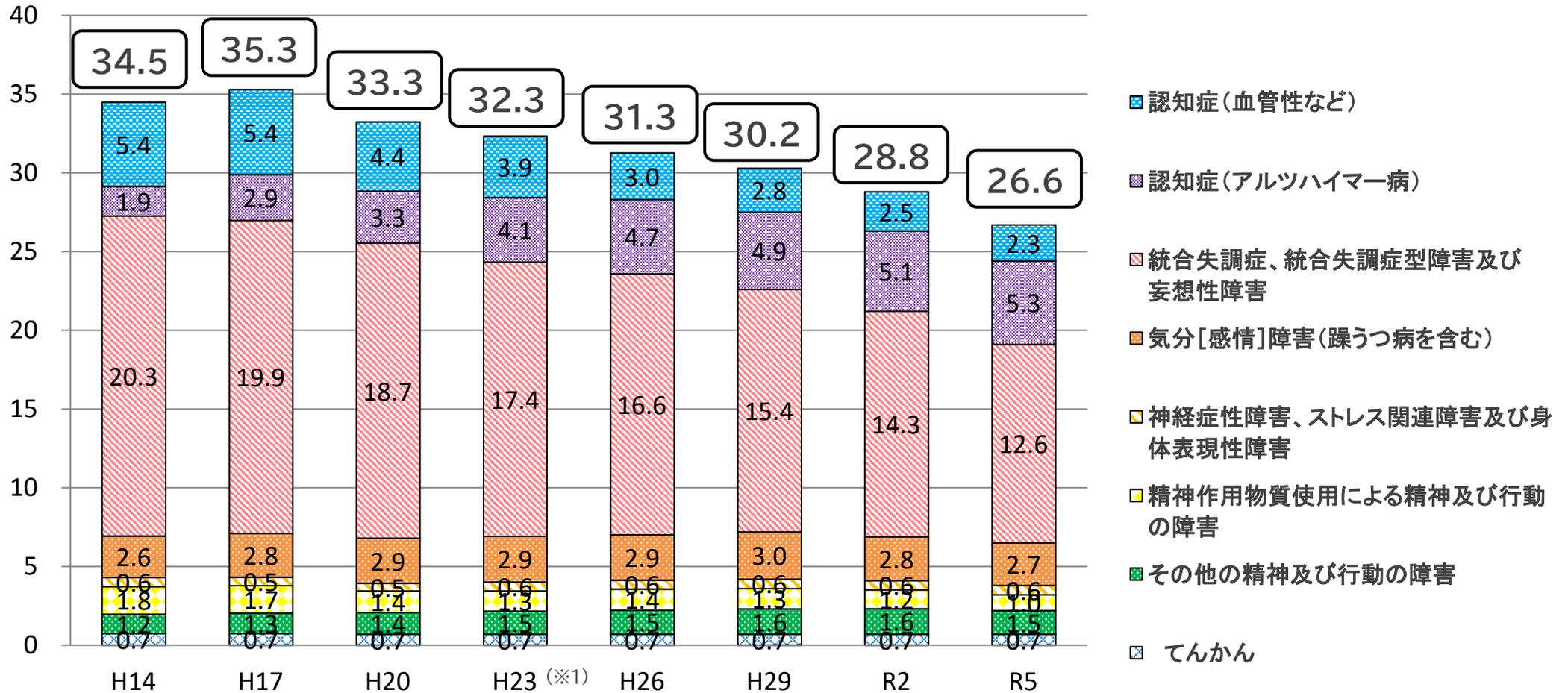
## 全体を見ながら各計画を作成



# 精神疾患を有する入院患者数の推移(傷病分類別内訳)

- 精神疾患を有する入院患者数は、約26.6万人。
- 傷病分類別では、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が最も多いが、減少傾向。

(単位:万人)

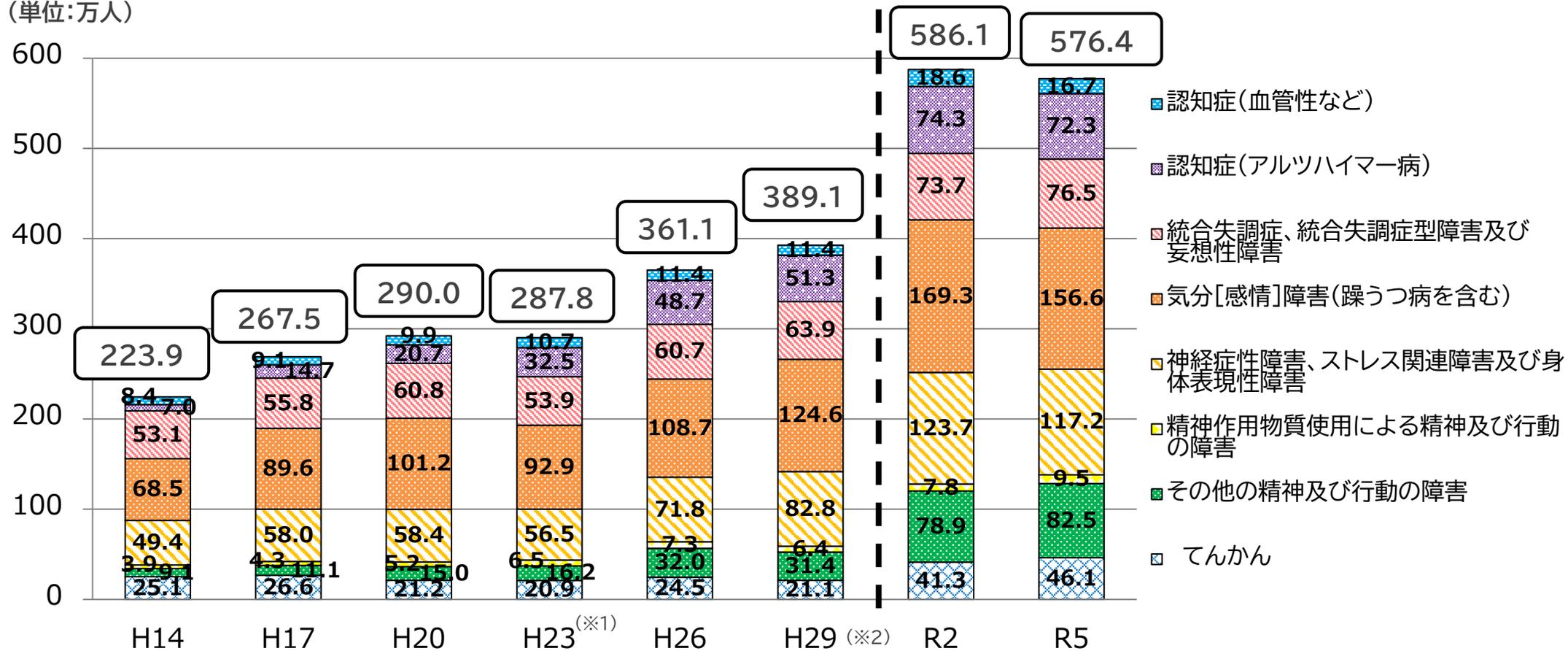


(※1)H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いている。

# 精神疾患を有する外来患者数の推移(傷病分類別内訳)

- 精神疾患を有する外来患者数は、約576.4万人。
- 傷病分類別では、「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」、「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」、「その他の精神及び行動の障害」の順に多い。

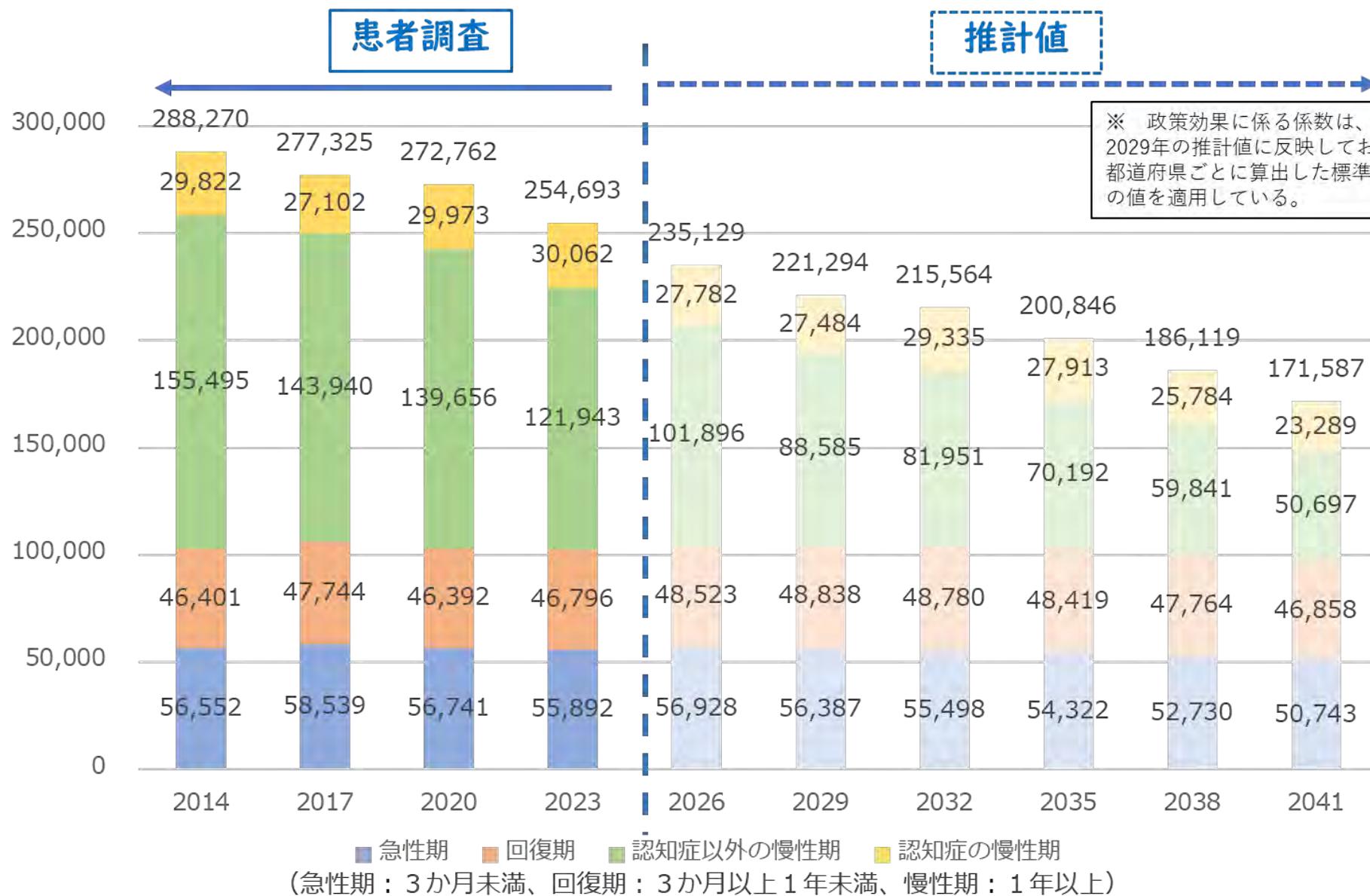
(単位:万人)



(※1)H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いている。

(※2)R2年から総患者数の推計方法を変更している。具体的には、外来患者数の推計に用いる平均診療間隔の算出において、前回診療日から調査日までの算定対象の上限を変更している(H29年までは31日以上を除外していたが、R2年からは99日以上を除外して算出)。

## 将来入院患者数の推計※



※ 政策効果に係る係数は、2026年、2029年の推計値に反映しており、各都道府県ごとに算出した標準の係数の値を適用している。

# 多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築に向けた医療機能の明確化

医療機能	役割要件	統合失調症	認知症	児童・思春期精神疾患	精神科救急	身体合併症	自殺未遂	うつ	PTSD	依存症	てんかん	高次脳機能障害	摂食障害	災害医療	医療観察
都道府県連携拠点機能	役割	①医療連携の都道府県拠点,②情報収集発信の都道府県拠点,③人材育成の都道府県拠点,④地域連携拠点機能支援													
	要件(例)	①地域連携会議の運営,②都道府県民・患者への積極的な情報発信(予防・治療に関する内容,地域資源に関する情報など) ③専門職に対する研修プログラムの提供(卒後専門領域研修など) ④地域連携拠点機能を担う医療機関からの個別相談への対応、難治性精神疾患・処遇困難事例の受け入れ													
地域連携拠点機能	役割	①医療連携の地域拠点,②情報収集発信の地域拠点,③人材育成の地域拠点,④地域精神科医療提供機能支援													
	要件(例)	①地域連携会議の運営支援,②地域・患者への積極的な情報発信(予防・治療に関する内容,地域資源に関する情報など) ③研修の企画運営(個別事例の検討、多職種研修など) ④地域精神科医療提供機能を担う医療機関からの個別相談への対応,難治性精神疾患・処遇困難事例の受け入れ													
地域精神科医療提供機能	役割	①医療連携への参画,②情報発信への参画,③人材育成への参画,④地域精神科専門医療の提供													
	要件(例)	①地域連携会議への参画,②患者への情報提供、拠点機能を情報収集への協力 ③研修への参加,④多様な精神疾患等ごとに求められる専門医療の提供													

# 医療需要は地域により大きく異なる



- ✓ 自分たちの地域ではどのような需要があるのか？
- ✓ 将来どうなりそうなのか？
- ✓ どうやって実態を把握するのか？  
(データから見えることと、データだけではわからないことがある)

# 医療計画(精神疾患)策定・見直しにあたり 考慮したいこと

- ✓ 精神医療の提供体制(医療計画(精神疾患))は、  
「にも包括」の重要領域
  - 「にも包括」協議の場やヒアリング、調査などで地域課題を把握
  - 多様な精神疾患に対応するうえでの課題(医療機関から見た課題、行政・障害福祉等から医療機関と共有したい課題)につき意見伺い・意見交換
  - 計画作成・評価・見直しプロセスそのものが連携構築につながる

# 医療計画(精神疾患)策定・見直しにあたり 考慮したいこと

## ✓ 精神医療の提供体制(医療計画(精神疾患))の 医療計画全体における位置づけを考える

- 身体疾患を有する精神疾患患者、精神疾患や精神的不調を有する身体疾患患者、ともに増加
- 精神医療の提供体制と一般医療の提供体制をそれぞれ単独で検討することの限界を知る
- 一般医療の医療計画担当部署との話し合い・連携

→ **新たな地域医療構想**に向けた準備

# 2040年頃を見据えた課題

- ✓ 精神病床における高齢化の進展等に伴い、入院患者数の減少や病床利用率の低下が更に見込まれる
  - 精神病床の適正化を進め、効率的な精神医療提供体制を確保する必要がある
- ✓ 入院患者像や疾病構造の変化
  - 精神病床の機能分化・連携、精神医療以外の一般医療との連携体制の強化及び精神科病院の構造改革を進める必要がある
- ✓ 精神医療全体における疾病構造の変化、精神科外来患者の増加
  - 一般医療との連携体制の強化、外来・在宅医療提供体制の整備がこれまで以上に重視される
- ✓ 精神医療と一般医療を合わせた医療提供体制全体の議論を進めていく必要がある

# 新たな地域医療構想

- 病院のみならず、かかりつけ医機能や在宅医療、医療・介護連携等を含め、地域の医療提供体制全体の地域医療構想として検討
- **精神医療も地域医療構想に位置づける**

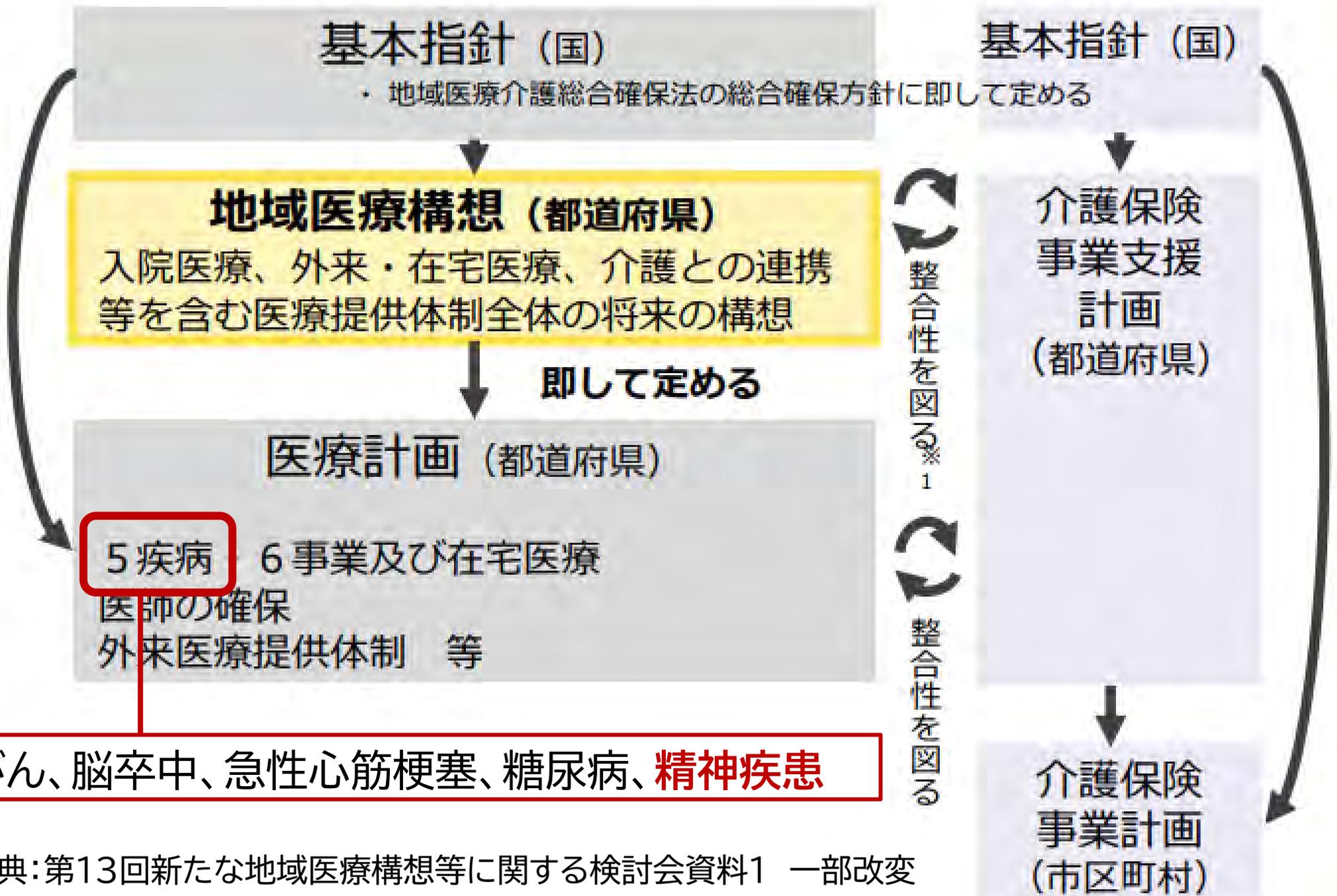
現行の地域医療構想

病床の機能分化・連携

新たな地域医療構想

入院医療だけでなく、外来・在宅医療、介護との連携等を含む、医療提供体制全体の課題解決を図る

# 医療計画と地域医療構想の関係



# 新たな地域医療構想において精神医療を位置付ける 場合の課題等に関する検討プロジェクトチーム 報告書より

精神医療に関する協議の場の開催や一般医療に関する協議の場への精神医療関係者の参画により、精神病床等の適正化・機能分化や、地域における**精神・身体双方の対応が**可能ないわゆる**総合病院、精神科単科の病院、診療所の役割の明確化と連携**、診療所等における精神科に係る外来医療提供体制の確保、精神科の在宅医療提供体制の確保、身体疾患に対する医療と精神疾患に対する医療の双方を必要とする患者への対応等における**精神医療と一般医療との連携等の推進**が期待される。

# 地域の医療ニーズに対応するために

- ✓関係者との協議やデータの活用により、地域の医療ニーズと現状の医療提供体制を把握
- ✓医療ニーズに応じた診療機能の整備
- ✓医療機関単独ではなく、地域全体で入院需要、外来・在宅医療需要に対応
- ✓一般医療、介護・障害福祉サービス、保健所・市町村との十分な連携を図る



ご清聴ありがとうございました